

令和4年度 福島県高次脳機能障がい支援研修会

病気や交通事故などで脳が損傷すると、記憶力、集中力、物事を段取りよく進める力、意欲や感情をコントロールする力などに障がいが生じ、社会生活に支障をきたす場合があります。これらを「高次脳機能障害」といいますが外見からはわかりにくく、より多くの方の理解とご支援を必要としております。ぜひ一緒に考えてみませんか。

日時

2023年 2月18日 (土) 13:00~16:50

参加費
無料

オンライン開催

参加ご希望の方は下記のURLまたはQRコードからお申込みください。
申し込み締め切り 2023年2月10日(金)

環境確認の必要な方は下記の日時にURLからご確認ください。
2023年2月8日(水) 13:00~16:00

URL :https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_Ham20pSkRDuHjsVyy_z3Sg



QRコード

テーマ 高次脳機能障がいをもっと理解できたらいいよね
～当事者の視点～

【第1部】 講演 「高次脳機能障害 戦略的当事者を目指して」

13:05~14:35

講師 ルポライター 鈴木 大介 先生

【第2部】 講演 「壊れた脳と生きる術ー高次脳機能障害の理解のためにー」

14:45~15:45

講師 東北大学大学院医学系研究科高次脳機能障害学 教授 鈴木 匡子 先生

【第3部】 鈴木大介先生と鈴木匡子先生にもっと聞いてみよう

15:55~16:50

※ 参加申込時に事前質問を受付けておりますのでご記入ください。

鈴木 大介先生

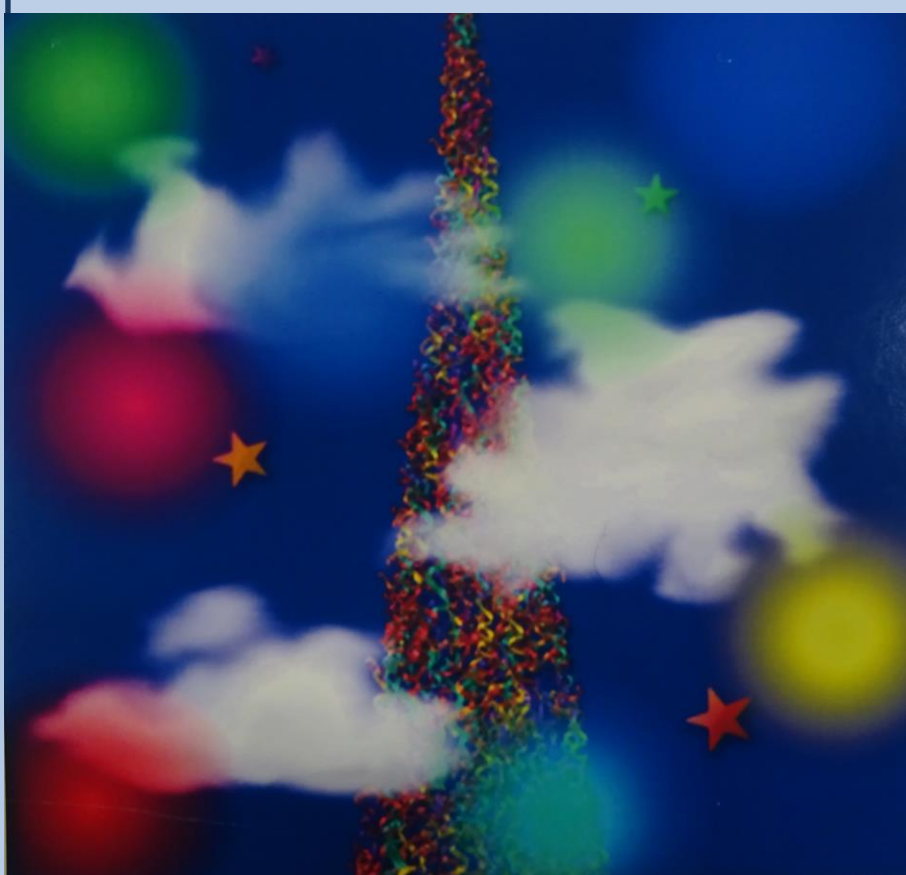
ルポライターだったが、2015年、41歳のときに脳梗塞を発症し、高次脳機能障害が残る。当事者視点からの実践的な援助ガイドを試みた『「脳コワさん」支援ガイド』は第9回日本医学ジャーナリスト協会賞・大賞を受けた。

鈴木 匡子先生

専門は神経内科学、神経心理学、神経生理学。山形大学医学部を卒業後、東北大学医学部脳疾患研究施設脳神経内科で神経内科学を学び、メルボルン大学神経心理学教室留学。東北大学高次脳機能障害学助手、講師を経て、2007年山形大学大学院医学系研究科高次脳機能障害学教授。同内科学第三講座神経学分野教授を経て、2017年より現職。

当事者と医師の語り合いの記録

著書『壊れた脳と生きる』鈴木大介/鈴木匡子



作:TAKAYUKI WAKI

後援 福島県医師会、福島県言語聴覚士会、福島県臨床心理士会、福島県公認心理師会、福島県理学療法士会、福島県作業療法士会、福島県社会福祉士会、福島県相談支援専門員協会、福島県医療ソーシャルワーカー協会、福島県介護支援専門員協会、脳神経疾患研究所附属総合南東北病院

お問い合わせ 福島県高次脳機能障がい支援室 (総合南東北病院 医療相談課内) 担当: 野本/本多
〒963-8563 郡山市八山田七丁目115 TEL(024)934-5680